

まちの話題

入湯客が300万人に 但馬楽座で記念セレモニー



記念のくす玉を割る柳田さん
(右から2人目)ら

昭和60年の温泉施設オープン以来20年目を迎えた「やぶ温泉但馬楽座」の入湯客が、300万人に達しました。

7月25日、300万人目の入湯客となった京都市の柳田マヤさんが入館すると記念のくす玉が割られ、300万人目とその前後の入湯客に対して、同温泉のペア無料宿泊券などが贈呈されました。柳田さんは「初めて来ましたが、私が300万人目になるとは思いませんでした」と驚きながら話されました。

また、同温泉ではオープン20周年を記念して7月5日、市内の小規模作業所の入所者60人を招待し、無料入浴サービスを行いました。今後、施設の一部を利用して、小規模作業所入所者が製作した商品の展示販売もされる予定です。

ゲレンデ彩るラベンダー にぎわったラベンダーフェスティバル

夏山の新たな魅力を創り地域活性化を図ることを目的に7月9日と10日、ラベンダーフェスティバルが東鉢伏高原で開催されました。これは、別宮地区のみなさんと組織する東鉢伏高原体験村（西谷茂廣代表）の主催で行われたもので、会場には「グロッソ」など3種類約1万株のラベンダーが咲き誇り、一帯はラベンダーのすがすがしい香りに包まれていました。

このほか、ラベンダーをリボンで編みこむラベンダースティック教室やラベンダーティーの試飲、におい袋など手づくりのラベンダーグッズが販売され、来場者はラベンダーの魅力を満喫していました。



一帯に咲いたラベンダーを觀賞する来場者

学び舎の完成祝う 高柳小学校の全施設が完成

多様な学習形態に対応するため建設を進めていた高柳小学校の全施設が完成し、7月11日に竣工式典が行われました。

式典には保護者のみなさんや同小学校区の関係者ら約150人が出席。梅谷馨・養父市長の式辞、来賓のみなさんの祝辞に続き、児童代表が「みなさんへの感謝の気持ちを忘れず、高柳小学校の伝統を引き継ぎながら勉強や運動を頑張ります」と学校完成にあたってお礼のことばを述べ、全校児童が完成を祝って校歌を斉唱しました。

本事業は平成11年度に着手し、平成14年度に屋内運動場の建設に着工。以後、校舎やプールなどの建設を進め、本年7月に全施設が完成しました。総事業費は約15億3千万円です。



感謝の気持ちを込めて校歌を斉唱する全校児童